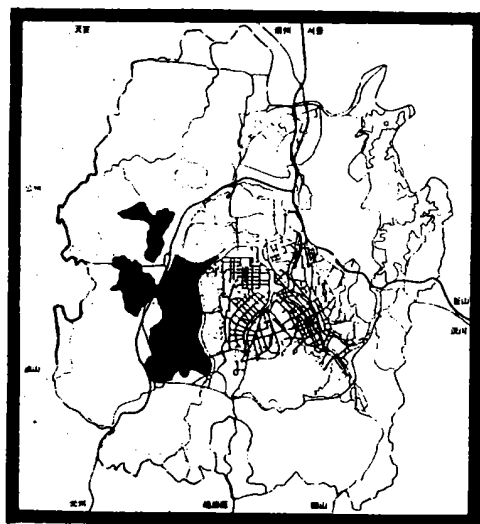


## 西南部生活圈開發 基本計劃(案)

1991. 12



大 田 直 轄 市

## 目 次

### 第 一 章 計 劃 基 調 / 2

- ① 推 進 背 景 /2
- ② 計 劃 範 圍 /3

### 第 二 章 開 發 與 件 分 析 / 5

- ① 大田市 成長 過程 /5
- ② 地 域 現 況 /6
- ③ 綜 合 吳 課 題 /9

### 第 三 章 基 本 構 想 /10

- ① 大田市 發展 展望 /10
- ② 目標と 基本 方向 /11
- ③ 導 入 施 設 分 析 /12
- ④ 基 本 構 想 /13

### 第 四 章 基 本 計 劃 ( 案 ) /14

- ① 性 格 吳 機 能 /14
- ② 基 本 骨 格 /15
- ③ 基 本 計 劃 (案) /18
- ④ 地 區 別 計 劃 /19

### 第 五 章 事 業 執 行 計 劃 /22

- ① 事業 施行 方案 /22
- ② 段階別開發計劃 /22
- ③ 向後 推進 計劃 /24

## 第一章 計劃基調

### ① 推進背景

#### ■ 國土次元

- ・ 國土空間 多樣化로 圈域別 特化都市 必要性 擡頭
- ・ 中部圈 合理的 管理및 地域 經濟網 形成
- ・ 中部圈 1次成長 據點 都市의 大規模 中樞機能 立地

#### ■ 大田市 次元

- ・ 都心 機能 偏在의 對應策 마련
- ・ 大田市의 外緣的 膨脹과 過密問題 解決
- ・ 廣域都市의 效率的 管理를 위한 機能分散 誘導

#### ■ 西南部 生活圈 次元

- ・ 市街化調整區域 解制에 따른 土地資源利用 管理方案 講究
- ・ 地域空間構造 再編成에 따른 基本骨格案 마련
- ・ 長期的 眼目에서의 效率的 開發方式 提示

## 2 計 劃 範 圍

### ■ 空間的 範圍

- 位置：大田直轄市 西歐 도안, 가수원, 관저동 및  
儒城區봉명, 원신흥, 상대, 용계, 북룡, 대정, 학하,  
노은, 지족, 반석동 일원
- 面積：1,008만평 (儒城區 756萬坪, 西區 252萬坪)

基本計劃 樹立區域	宅地開發 候補地
西區 儒城區 一圓 1,008萬坪	基本計劃 結果에 따라 協議後 選定

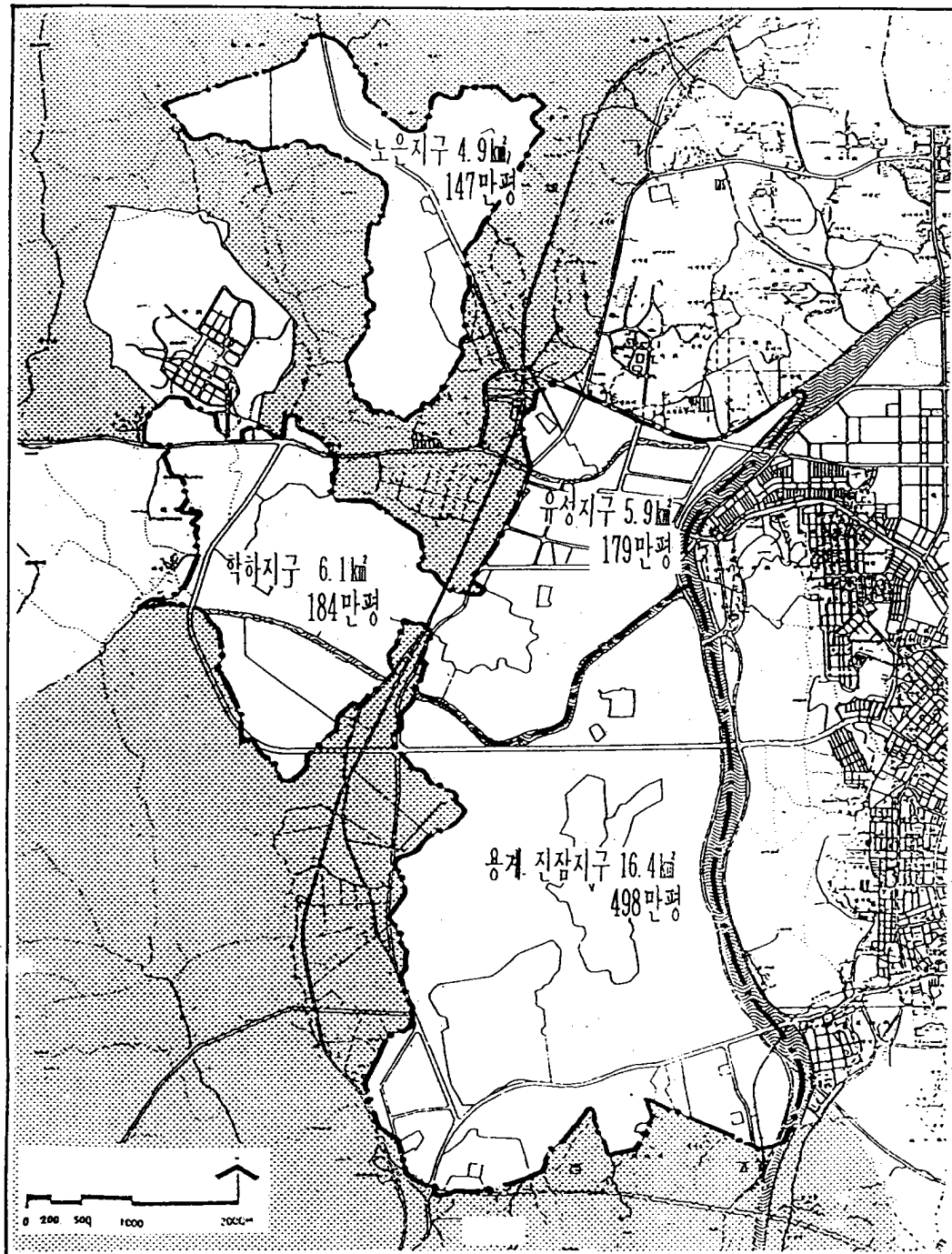
### ■ 時間的 範圍

- 目標年度：短期 2001년(1段階)  
長期 2011년(2段階)

### ■ 內容的 範圍


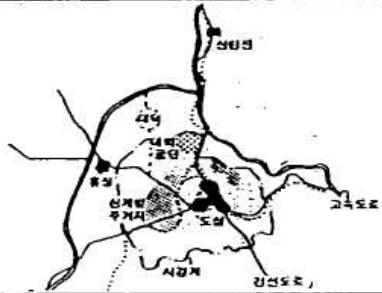
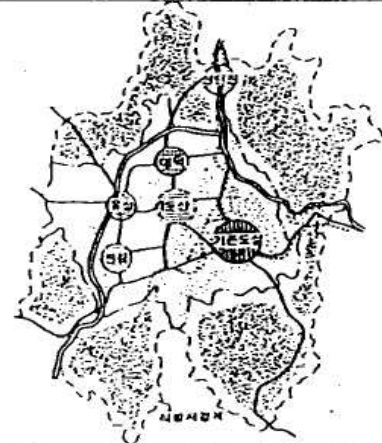
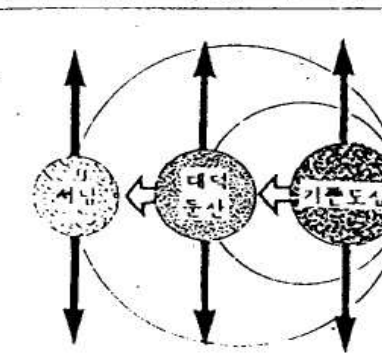
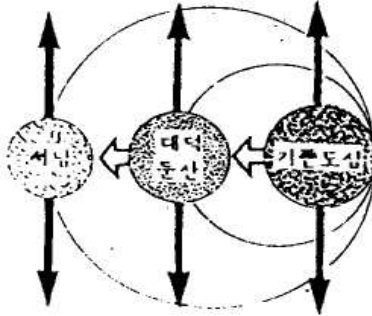
- 大田直轄市 中長期 宅地 需要分析 및 供給計劃 樹立
- 西部地域 宅地開發 事業 妥當性 調査
- 基本計劃樹立
- 宅地開發 豫定地 指定 申請書 作成

・計劃對象區域圖



## 第二章 開發與件 分析

### ① 大田市 成長 過程

時代 區分	變 遷 過 程
1945년이전 15.7 → 35.7㎢ 常住人口 7.6만인	
1945 ~ 1970 35.7 → 88.2㎢ 常住人口 41만인	
1970 ~ 1980 常住人口 62만인	
1980 ~ 1990 → 203.8㎢('83) → 537.3㎢('89) 常住人口 102만인	
1991년이후 常住人口 164만인 ('2001)	
都市構造 : 東 → 西 街路網 : 南 → 北	

## 2 地域現況

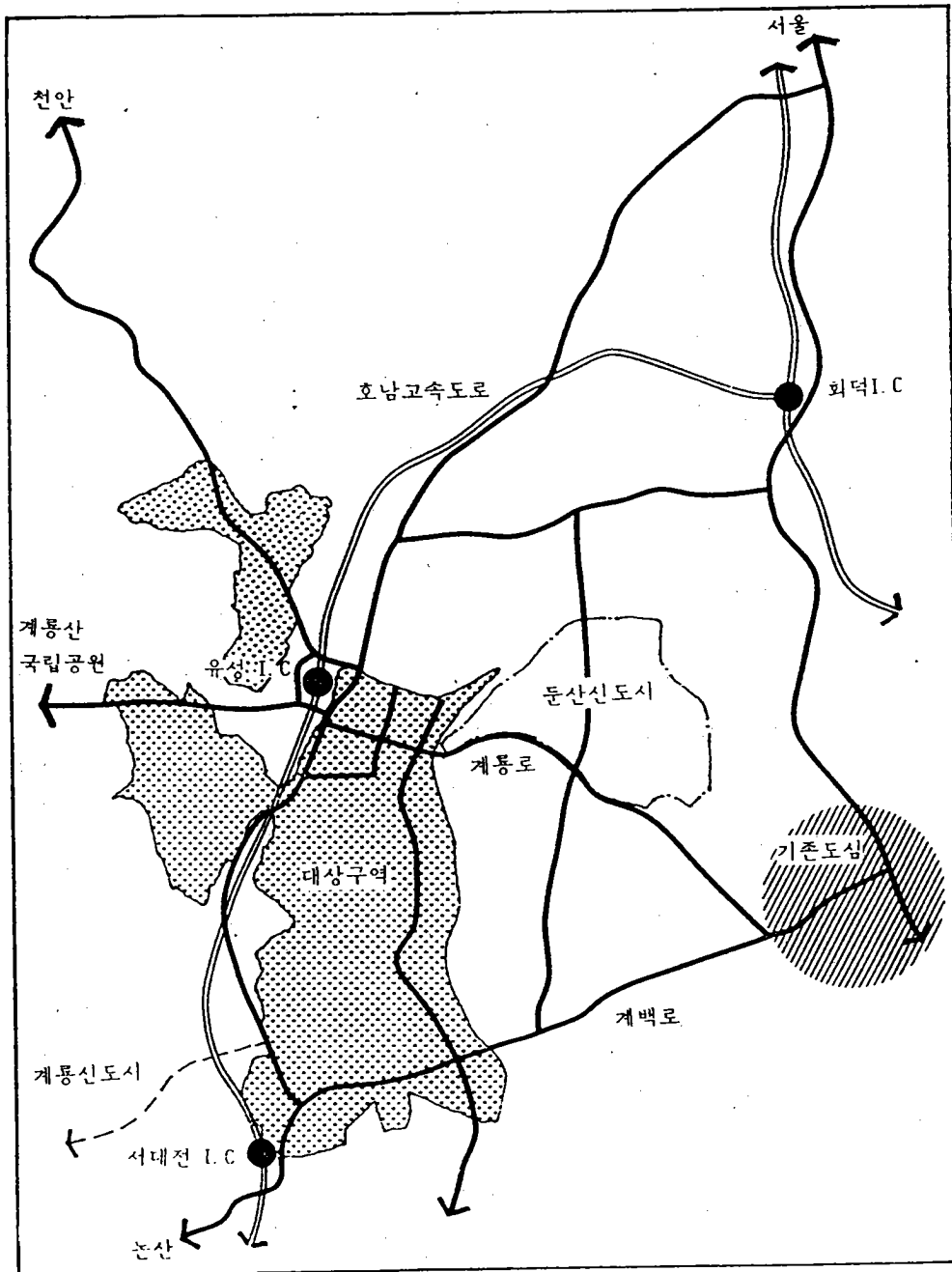
### ■ 自然環境

- ・ 既存 都心 8Km, 屯山新都心 3Km 圈內에 立地
- ・ 標高 50 ~ 100m의 平坦한 農耕地 및 丘陵地로 形成
- ・ 中小準用河川(儒域川・鶴下川)이 新灘津 北쪽 金江本流와 合流
- ・ 代表樹種으로는 소나무, 상수리, 아카시아, 오리, 포플러 分布
- ・ 主風向은 南西風 또는 西西南風

### ■ 人文環境

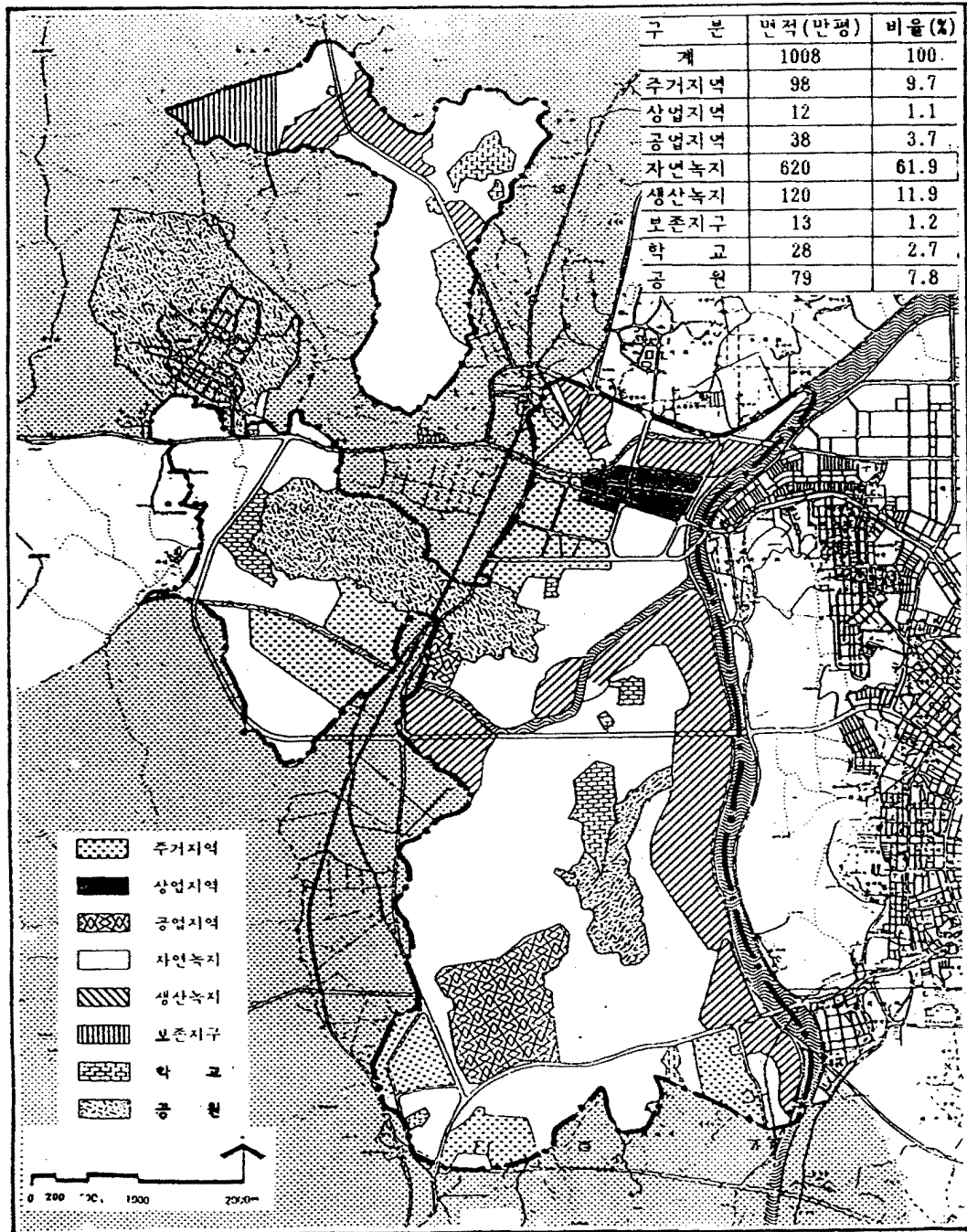
- ・ 西部地域內 約 6萬人 (1.2萬家口) 常住
- ・ 유성, 진잠일대 市街化區域 人口密度 86人/ha (大田市 250人/ha)
- ・ 主要支障物 現況
  - 교도소(6만평), 충남방직(20만평)
  - 목원대, 침례신학대, 대전공업대등

・ 交通現況圖





• 都市計劃現況圖



### ③ 綜合吳 課題

區 分	分 析 綜 合
廣 域 次 元	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 廣域流通 據點空間 確保로 地域經濟 活力素 提供 (都市 基本計劃上 西南部 生活圈 附與機能)</li> <li>• 科學技術, 研究機能 및 尖端產業機能이 大德에 立地</li> </ul>
周邊地域次元	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 甲川과 月坪公園으로 既存 市街地와 分離</li> <li>• 高速道路, 地域間 幹線道路 등 廣域接近性 良好</li> </ul>
西部地域次元	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市街化 調整區域 解制로 地價 上昇</li> <li>• 都市基盤施設 및 公共施設 全無</li> <li>• 土地利用上 相衝施設 散在 (교도소, 공장, 군부대)</li> <li>• 既存 聚落의 移住 및 補償 問題</li> </ul>



計 劃 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 廣域街路網 體系構築 및 新大衆 交通 시스템導入</li> <li>• 將來適正人口 流入에 對處할 段階的 開發 樹立</li> <li>• 土地開發을 先導하고 이미지提高를 위한 이벤트施設 誘致</li> <li>• 開發惠澤의 大衆化 / 低廉住宅 供給方案 講究</li> </ul>
---------	--

## 第三章 基本構想

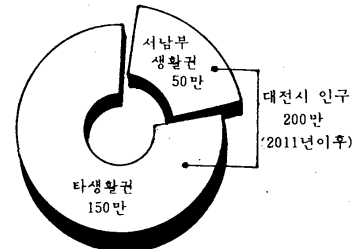
### ① 大田市 發展展望

#### ■ 21世紀의 展望

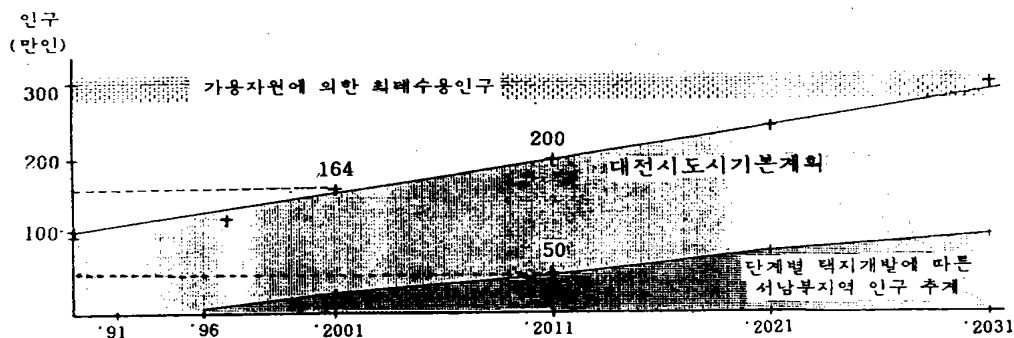
- ・環太平洋時代의 到來
- ・廣域都市化
- ・多樣化, 多元化된 市民社會
- ・情報, 短識産業의 比重增大

#### ■ 大田市의 未來像

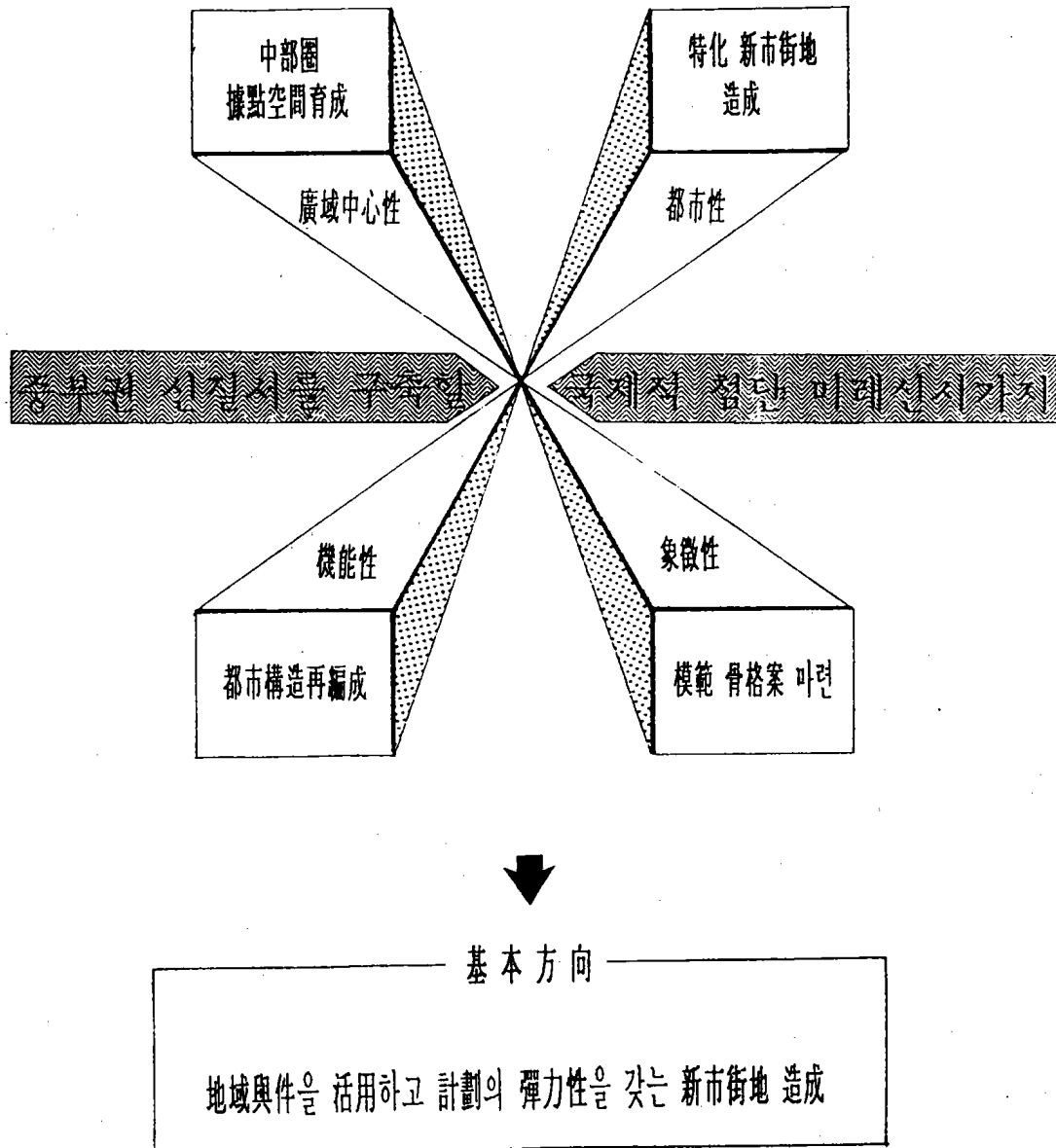
- ・國家 中樞 行政 都市
- ・尖端科學 技術 都市
- ・統一 繁榮時代의 中樞都市
- ・國際文化, 政治交流 都市



#### ■ 大田市 人口推移



## 2 目標와 基本方向



### ③ 導入施設分析

#### ■ 大田市 成長에 必要한 機能

- ・ 尖端集約型 4次産業機能 → 정보도시, 전산센터
- ・ 國際行事와 交流遂行機能 → 건본시, 비즈니스 교류의 장
- ・ 未來指向的 實驗都市로서의 必須機能 → 오피스파크
- ・ 아시안게임 및 國際競技 誘致機能 → 종합운동장, 선수촌

#### ■ 周邊地域 與件活用機能

- ・ 中部圈 集散 流通등 廣域서어비스 機能 → 유통기지, 화물터미널
- ・ 既存都心 移轉機能/敷地確保 機能 → 공용의 청사, 공공·행정
- ・ 地方 傳統文化的 再發見 및 行事 參與機能 → 문예공원, 예술인 마을
- ・ 儒城 大德의 都市特性 活用機能 → 화훼단지, 주제공원

#### ■ 西部地域 特化機能

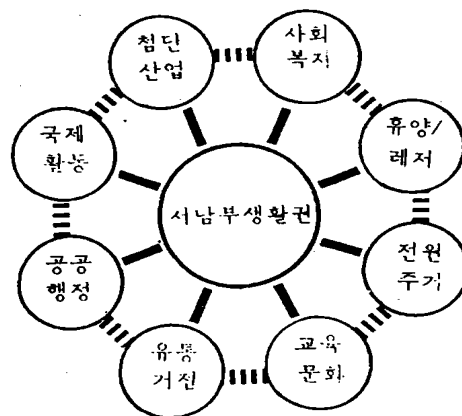
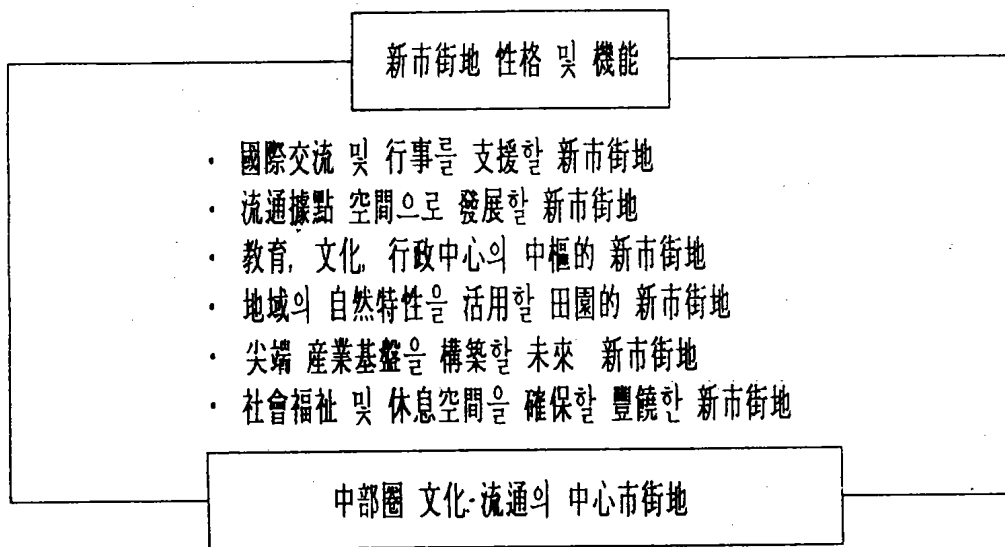
- ・ 初期開發을 先導할 起爆制로서의 特化機能 → 국제회의장
- ・ 自足的 新市街地로서의 必須機能 → 주거, 상업, 교육 시설
- ・ 開發制限 區域 活用이 可能的 機能 → 사회복지관, 주말/관광농원

#### 4 基本構想



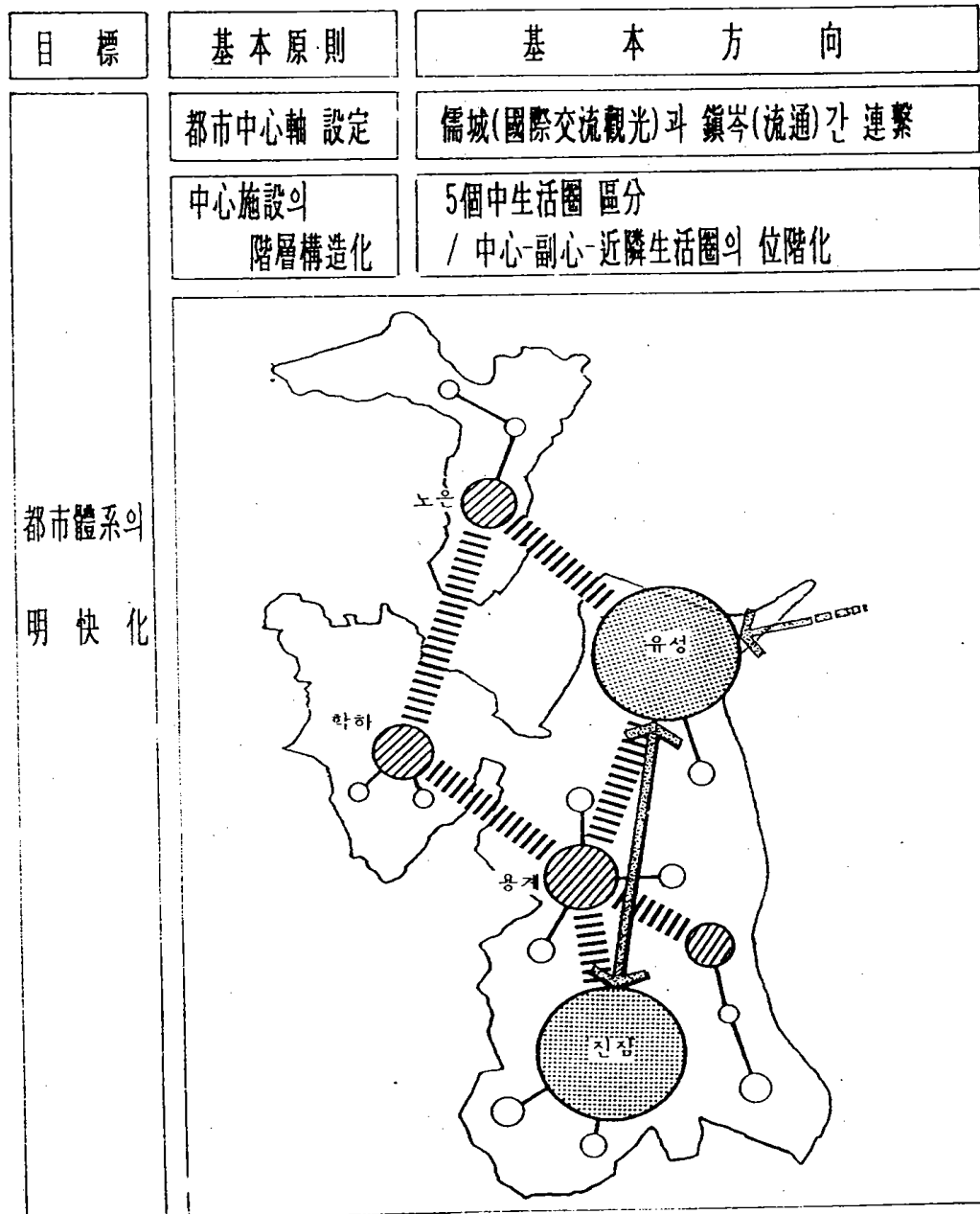
## 第四章 基本計劃(案)

### ① 性格 및 機能



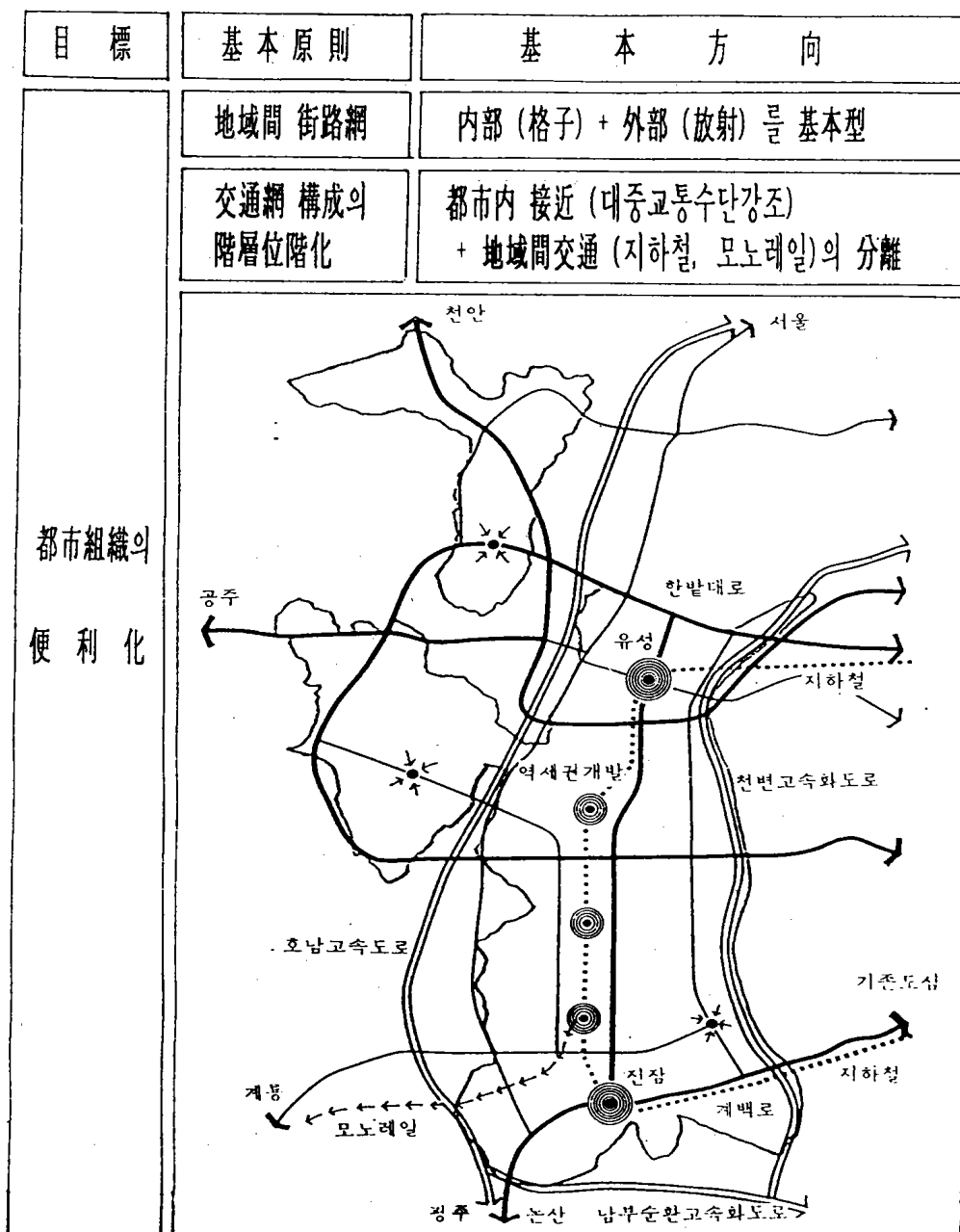
## 2 基本骨格

・土地利用體系

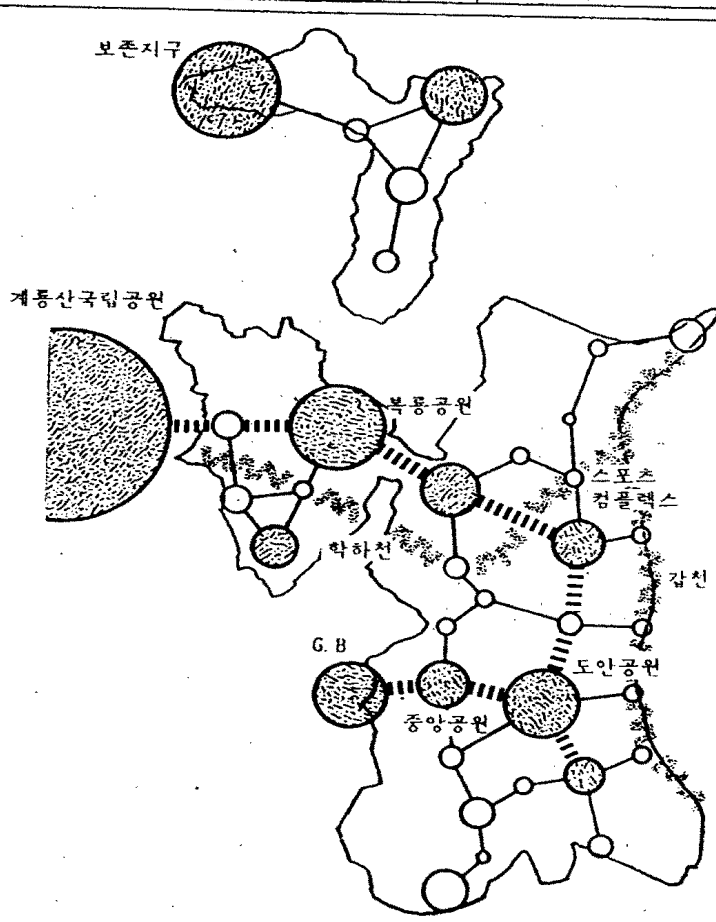




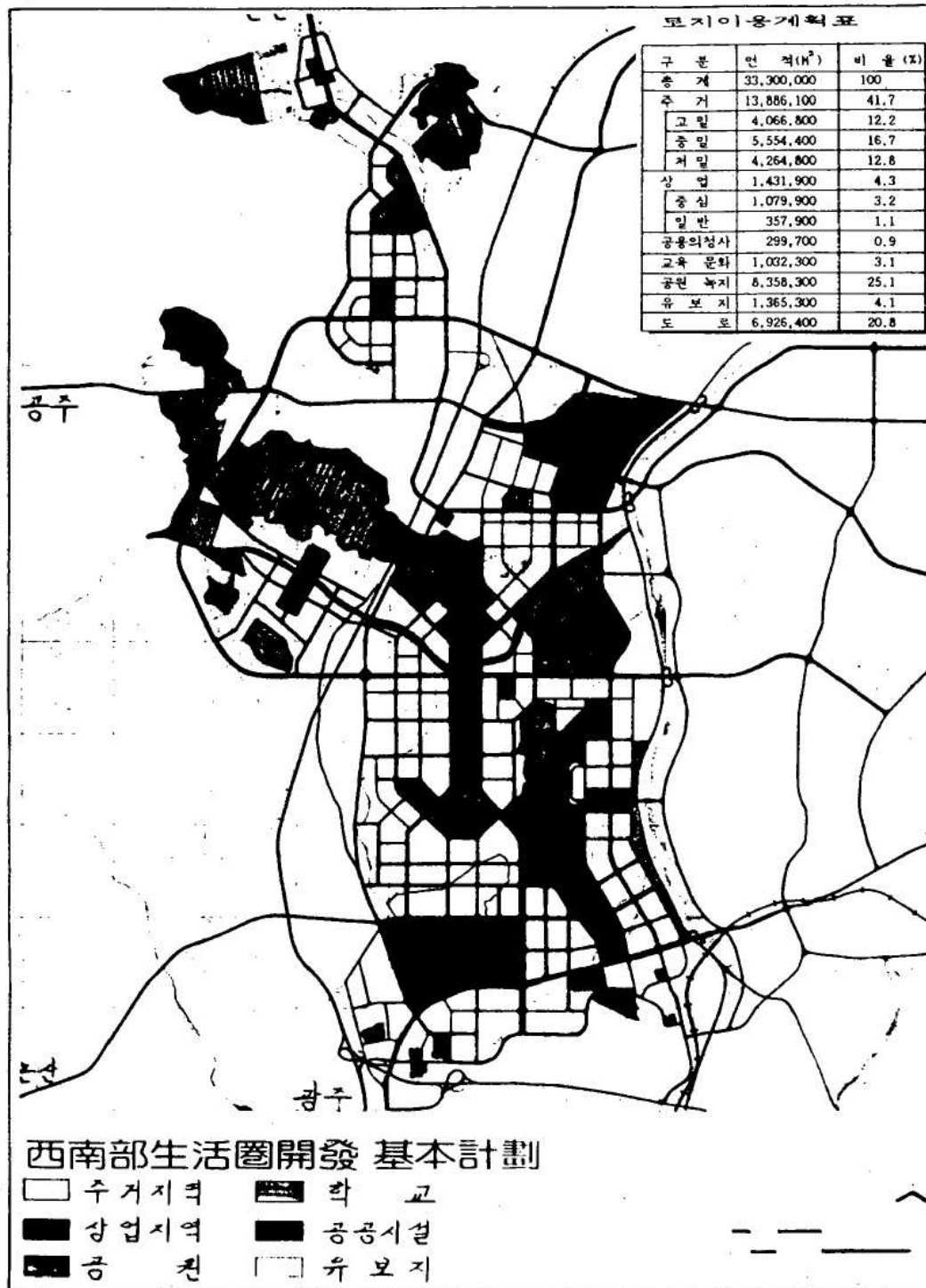
・ 交通 體系



・公園 綠地 體系

目 標	基 本 原 則	基 本 方 向
都市環境의 豊饒化	自然特性을 活用	都市成長方向을 考慮한 G.B의 活用方案 講究 大規模 中央公園計劃
	歩行爲主의 定住單位構成	市街地 全域에 廣域步行網 確立 북릉-도안-갑천을 잇는 綠地軸 形成
		

### ③ 基本計劃(案)



## 4 地區別 計劃

### 1) 流通團地

#### ■ 位置/規模

- 진잠일원 約19.5萬坪

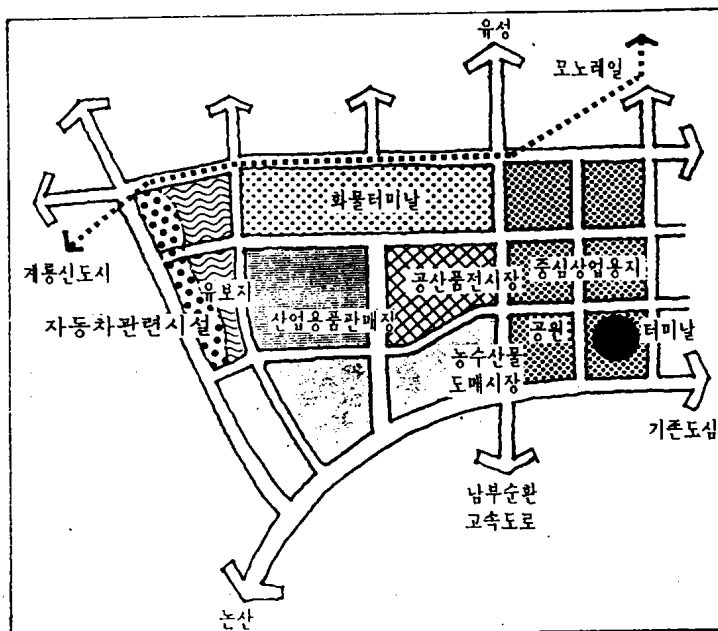
#### ■ 造成目的

- 基本計劃上 附與된 流通機能 具體化
- 新市街地計劃에 副應한 地域經濟 活性化 圖謀

#### ■ 造成 效果

- 散在한 機械, 工具 등 工產品 集團化 → 集積利益 追求
- 地域特化機能 強化 → 多樣性, 彈力性 提高

#### ■ 流通團地 構想(案)



토지이용계획	
구 분	면적(천평)
계	195
화물터미널	52
공산품전시장	31
산업용품판매장	51
유 보 지	23
농수산물도매시장 (준주거지역내설치)	25
자동차관련시설	13

## 2) 儒城地區

### ■ 位置/規模

- 儒城區 商業地域 일대 약 20萬坪

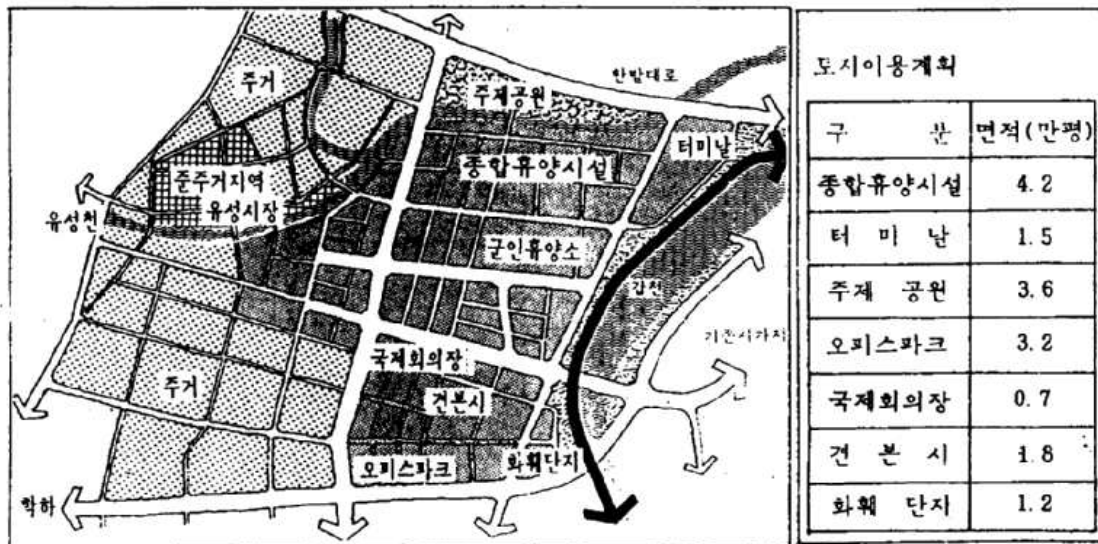
### ■ 造成目的

- 觀光/休養機能 強化 + 國際交流/民間活動 誘導
- 將次 副都心 擴散에 對備한 尖端·未來産業 誘致

### ■ 導入施設

- 國際交流 - 국제회의장, 공항터미날, 정보센터
- 民間活動 - 건본시, 호텔, 연수원, 오피스파크(고도빌딩군)

### ■ 儒城地區 基本構想(案)



### 3) 綜合運動場

#### ■ 位置/規模

- ・ 龍鷄里 일원 약 30萬坪

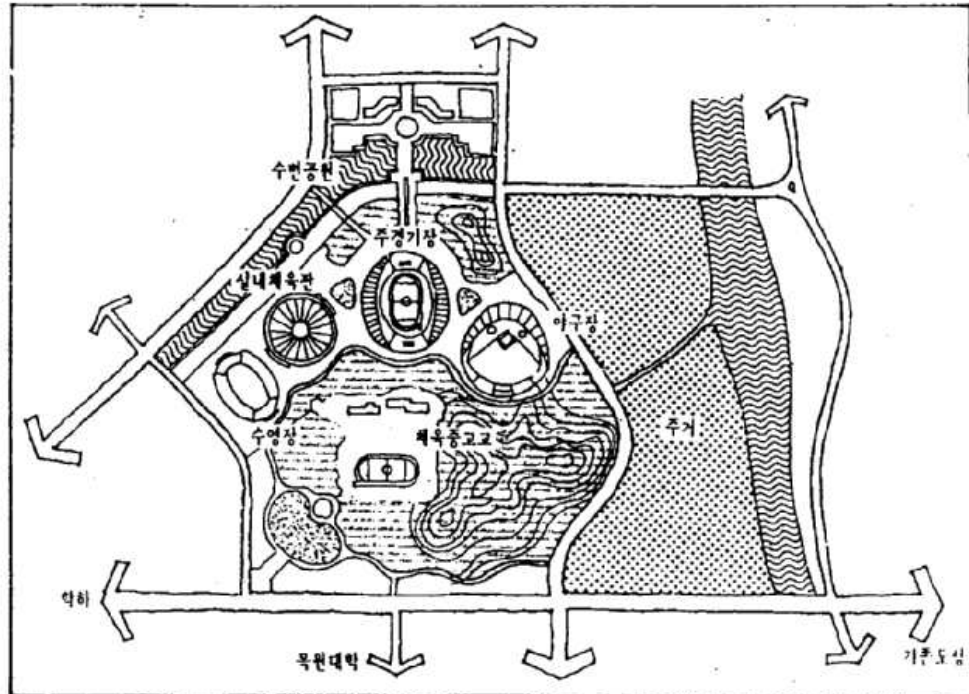
#### ■ 造成目的

- ・ 國際競技誘致를 위한 大單位 體育施設 確保
- ・ 甲川水邊과의 連繫로 市民의 休息空間 活用

#### ■ 導入 施設

- ・ 競技施設：主競技場, 野球場, 室內體育館, 水永場
- ・ 其他施設：體育高敎, 體育會館, 水邊公園, 近隣公園, 多目的廣場, 선수촌

#### ■ 스포츠 콤플렉스 例示圖



## 第五章 事業執行計劃

### ① 事業施行方案

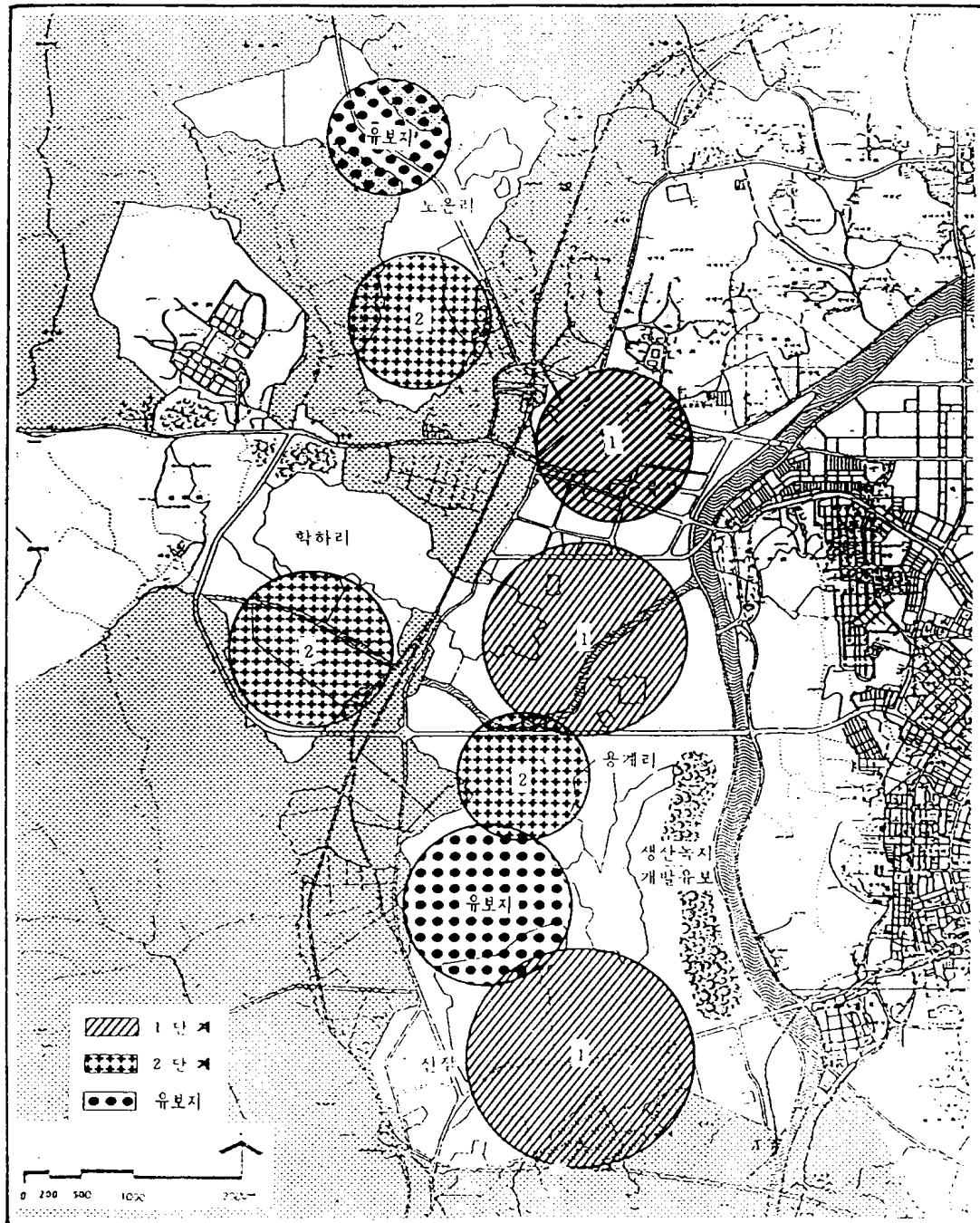
#### 開發原則

- 段階的 公營開發 方式으로 推進
- 既開發地 및 密集聚落地는 自力開發 整備
- 民間資本導入方案 模索 (第3섹타 方式)

### ② 段階別開發計劃

구 분		1 단 계	2 단 계	비 고
기 간		1992 ~ 2001	2002 ~ 2011	2011년 이후  대전시 200만 수용  서남부 50만 수용
위 치		-유성, 진잠, 관저일대	-노은, 학하, 용계일대	
개발내용		-광역기반시설 -유통기지 확보 -도시중심관리기능 수용	-첨단과학 산업유치 -국제적이벤트수용 -자족적 시가지로발전	
면적(만평)		330	270	기시가화구역:110만평 유보지 :300만평
수용 인구	(천인)	220	180	기시가화구역 인구 10만인제외
	(인/ha)	200	200	

・段階別 開發計劃圖





### ③ 向後推進計劃

